



【学校教育目標】 社会や人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.10

令和5年12月1日

京都市立東山泉小中学校

校長 岩田 智典



6年研修旅行 いっせーのーで! あいちへGo! ~ひとりの心をみんなに繋ぐ! ~

11月21、22日、6年生の研修旅行で名古屋、常滑方面に行きました。この方面は東山泉が開校以来訪れていた土地です。コロナ禍の関係でここ数年方面を変更していましたが、今年度復活しました。東山泉の総合的な学習の時間は地域調べの「ゆめづくり」から始まり京都、日本、世界へと調べ学習を発展させる「夢創」へとつながっていきます。今回訪れた「常滑」は陶磁器の「常滑焼」が有名な場所です。みなさんが住んでいるこの東山区は「清水焼」が有名な場所でもあります。制作の仕方や歴史は違いますが、



他の土地を見ることで自分たちの土地(故郷)について改めて考えることが出来ます。実際に常滑焼の地は、坂が多い町で、窯元のほかにカフェやギャラリーなどがあり、東山泉の校区ととてもよく似ていました。6年生ともなると、この体験のように、自分自身を客観視することが出来るようになります。1ヶ月前、名古屋の東山動物園との比較対象にと、京都市動物園に出かけました。そのときは班行動が出来ずに課題が残りましたが、今回の研修旅行では見違えるようでした。これは5年生のときに西学舎で培ったリーダーの力が大きく関係しています。子どもの心の成長は上昇するばかりでなく、時には挫折や失敗があります。しかし、過去に培った力は消えることはありません。6年生はそのことを強く実感してくれたのではないのでしょうか。



1・2年生 秋の遠足

11月21日(火)に1年生と2年生が合同で京都市動物園へ遠足に行きました。1年生も2年生も、入学して初めての遠足です。当日は、天気も良く絶好の遠足日和でした。

行き帰りは電車も使って移動するので、事前に、安全について確認したり、公共の場でのマナーについて考えたりしました。電車の中で静かに過ごす姿や素早く集合する素敵な姿がみられました。また、東学舎周辺での「泉ウォークラリー」に引き続き、動物園でクイズラリーを実施しました。1年生と2年生が協力してクイズの答えを探したり、回答したりすることができました。



遠足を終えての子どもたちの感想を紹介します。

- ・初めて自分がリーダーになって、緊張しました。大変なこともあったけど1年生と一緒にウォークラリーができて楽しかったです。もっとたくさん1年生と遊びたいと思いました。
- ・今回の遠足で同じグループの1年生のことをたくさん知ることができたから、次は生活科の学習でおもちゃ作りをして、1年生を遊びに招待したいです。

